

大規模急速施工によるコスト縮減

工事名：関西国際空港2期用地造成事業（平成21年度分）

概要：大規模急速施工を前提とした高能率な工事実施

効果：

関空の現場状況を踏まえ、大規模急速施工を前提に、大型作業船・建設機械を用いた稼働率向上及び作業時間延長、さらにそれらによる工程短縮など、**高能率な工事実施**を積算に反映させ、

① 主作業船の能力等を関空2期工事の実態調査により設定。

② **大型作業船・建設機械等の供用係数**について各工種毎に1期実績や施工業者ヒアリングなどから、**作業限界、作業時間、休止日数等**を設定。

これにより、建設工事費を1,223百万円から1,183百万円に縮減。

（縮減額 40百万円、縮減率 3.3%）

算出フローの紹介（荒天日数）：

